

Green Legacy Hiroshima



長年、広島を街を散策しているうちに、私たちは広島の特別な住人—原爆を生き延びた樹木とその子孫の木—の回復力、寛大さ、美しさ、そして、とりわけ、それらの樹木が持つ大切な意義を知るようになりました。核の悲劇の生存者である被爆樹木は、ここ広島に住む人々や広島を訪れる人々に対してだけではなく全人類に対して重要なメッセージを伝えています。グリーン・レガシー・ヒロシマは、これらの樹木を守り、その存在と意味とを広く知らせるために立ち上げられました。世界中の多くのパートナーがこの取り組みに参加し、それぞれの国で、広島の平和のメッセージを緑の遺産とともに積極的に伝える大使になってくださることを祈念します。

グリーン・レガシー・ヒロシマについて

緑豊かな活気あふれる街となった広島は、平和記念資料館と平和公園で有名なだけでなく、樹木の豊富さでも知られています。爆心地からおよそ2キロ以内にある31種類、160本の樹木が、広島市によって正式に被爆樹木として登録されています。被爆者と同じように、被爆樹木もまた核兵器によって引き起こされた耐えがたい惨状の証人です。広島市や樹木医や多くの市民団体や市民によって、何年にもわたり大切にされてきたこれらの樹木には、被爆樹木であることを示すプレートがつけられています。

1945年8月6日に広島に投下された原子爆弾により、広島市の中心部は灰燼に帰し、放射能の砂漠となりました。壊滅的な打撃を受けた広島には、いかなる生命も生きられないと思われました。75年間は草木も育たないだろうと考えた人も多く、市全体を別の場所で再建しようという意見もありました。そのような状況の中で、原爆投下からほんの数か月後、荒廃した風景の中で被爆した木々に新しい芽吹きが見られました。その芽吹きは広島を復興させるために懸命に努力していた被爆者に力強いメッセージを与え勇気づけたのでした。1950年代に、広島で平和大通りや平和公園に植樹をするために供木運動が呼びかけられたとき、日本国内のみならず世界中から何千もの種や苗が提供されました。世界中からの支援によって、広島市は、河岸をはじめとする、街の緑化計画に取り組むことができ、その活動は今日まで続けられています。広島市は様々な地域と種のやりとりを通して、長年にわたりたくさんの「緑」の友好関係を築いてきました。

被爆樹木は、いまも葉を茂らせ、花を咲かせ、実をつけ、証人として生き続けています。これまでも、被爆樹木の種や苗を世界に広めようとする多くの有意義な活動が実施されてきました。しかし国際的かつ組織的な取り組みは、今回が初めてです。より緑豊かな地球にするために、次世代の人々が核の脅威のない世界に生きられるようにするために、戦争犠牲者を追悼するために、あるいは自分の住む街に平和公園を作るために尽力したいと思うすべての方々と共に活動することを目指し、2011年7月、ナスリーン・アジミと渡部朋子は、国連訓練調査研究所（ユニタール）、ANT-Hiroshima、献身的な市民の方々と共に、「グリーン・レガシー・ヒロシマ」（GLH）の一年のパイロット期間を開始しました。広島の被爆樹木の種や苗を配布し植えるというその設立趣旨はシンプルで持続可能です。一方、その実施方法は、都市の公園や、植物公園、学校、大使館などの公共施設や民間施設に種を植えることから、核施設が存在した可能性がある南アフリカやカザフスタンのような象徴的な場所に植樹することまで、場所にあった様々な活動が考えられます。中心概念は普遍的で、活動方法は多様なこの取り組みは、象徴的な力がある一方、実施は容易です。

さらに、グリーン・レガシー・ヒロシマの取り組みによって、ユニタール、ANT-Hiroshima、広島大学、広島市や広島県のプログラムで広島を訪れる数多くの専門家や研究者たちと広島との絆を深めていくこともできるでしょう。彼らは、それぞれの豊かな経験とエネルギーを生かし、21世紀の平和と環境のメッセージを伝える広島の大使として活躍してくれるでしょう。

Green Legacy Hiroshima

一年間のパイロット期間を経て、2012年7月、「グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブ」は日本の法律のもとに任意団体として新たに立ち上がりました。引き続き、共同創設者ならびにコーディネーターを中心に活動していきます。組織的なパートナーであるユニタールとANT-Hiroshima、広島市、平和首長会議、広島市植物公園、広島大学、広島県からなるワーキンググループもこのイニシアティブの活動に協力していきます。

グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブへの参加方法については添付資料をご参照ください。

(2017年5月)

お問い合わせ先：

グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブ 共同創設者ならびにコーディネーター
ナスリーン・アジミ (greenlegacy@unitar.org)、渡部朋子 (green@ant-hiroshima.org)

UNITAR (国連訓練調査研究所) 広島事務所内

〒730-0011 広島市中区基町 5-44 広島商工会議所ビル 5階

ANT-Hiroshima 事務所内

〒730-0012 広島市中区上八丁堀 8-14 安芸リーガルビル 5階

www.unitar.org/greenlegacyhiroshima